

1. ITHRD（一般社団法人 IT 人材育成協会）の目的

IT 人材の育成は、企業も国も最優先で取り組まねばならない課題である。その中で、決定的に不足しているのは、人材を育成・指導する人材である。

当協会としては、研修等を企画・実施するプロフェッショナルの育成支援、
企業内で仕事を通じて部下の育成を担う現場の指導者の育成を支援することで、
 人材育成を推進し、IT 社会の発展に寄与することを目的とする。

2. 「育成者」の定義

育成者（研修における指導者／現場での部下育成者）は『ラーニングファシリテータ』の役割を担う。

ラーニングファシリテータ = 学習者の学習を支援・促進する人

「教える」のではなく、学習者が「自ら学ぶように仕向ける」のがその役務である。

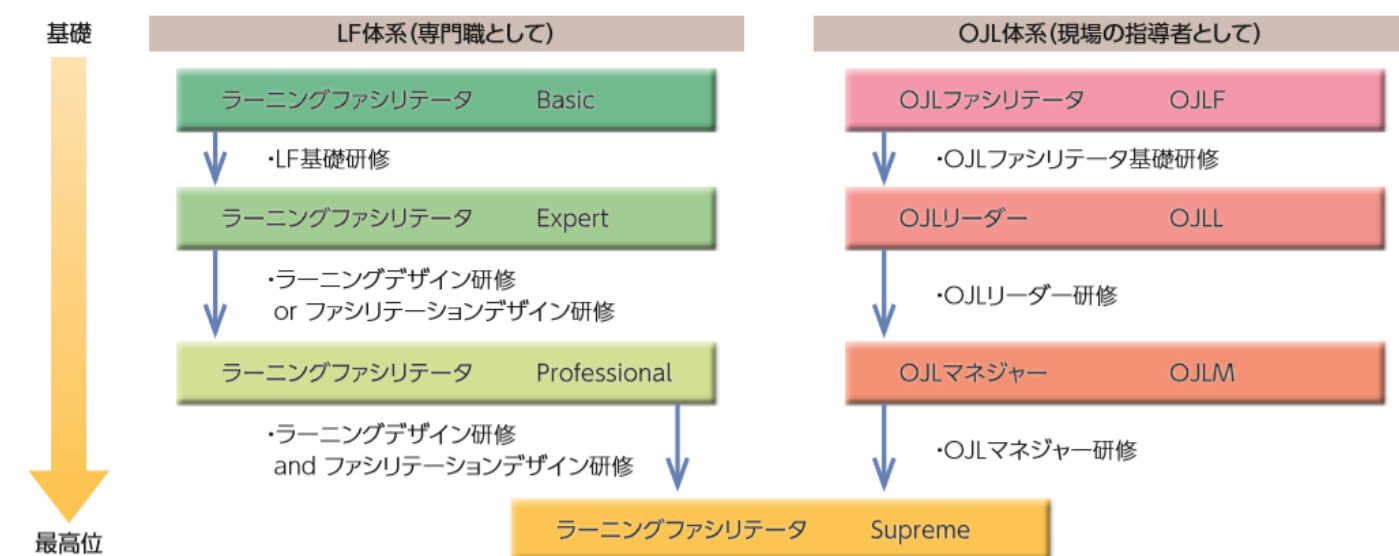
（「ティーチャ」でもなく「トレーナ」でもない、学習者を主体と考える「ファシリテータ」である）

当然ながら、育成者を育成する人間も「ラーニングファシリテータ」でなければならない。

育成者の育成を「FFF（Facilitate For Facilitator: トリプル F）」と呼称する。

3. ラーニングファシリテータの研修体系と資格制度

図表 ラーニングファシリテータ育成研修体系（育成認定部会）



出所：ITHRD

『学び』（促進学習）の専門家を養成し、その知識・スキル・能力を保証（認定）する
（「学び」は日々の『継続学習』であり、資格認定は「その段階で修行中」という意味も含まれる）

≪LF 体系（専門職として）≫

■LFB (Learning Facilitator Basic)

意味：『教えない研修』の意味と有効性を理解し、「ラーニングファシリテータ」としての基礎的なスキルと振る舞い方を身につけている。

取得：「ラーニングファシリテータ基礎研修」に参画し、認定試験（実技形式）に合格すること。

■LFX (Learning Facilitator Expert)

意味：研修講師として、研修の場でファシリテーション能力を発揮して学習者を積極的に学習するよう仕向けることができる。または、そうした研修の在り方（＝ラーニング）を自ら企画・設計できる。

取得：「ファシリテーション・デザイン研修」または「ラーニング・デザイン研修」に参画し、認定試験（実技形式）に合格すること。

■LFP (Learning Facilitator Professional)

意味：研修講師として、「促進学習」の意味を深く理解し、研修の企画・設計段階～実施段階を通じて自らそれが体现できる。

取得：「ファシリテーション・デザイン研修」及び「ラーニング・デザイン研修」に参画し、双方の認定試験（実技形式）に合格すること。

≪OJL 体系（現場の指導者として）≫

■OJLF (On-the-Job Learning Facilitator)

意味：部下の模範となるべき新リーダー及びリーダー候補として、自ら学ぶことの意義と『学び方』を理解し、学習促進のための基礎的なファシリテーション能力を身につけている。

取得：「リーダー候補向けOJLF基礎研修」に参画し、研修終了後、職場でその効果が発揮できていることが認定（職場リーダー判断）されること。

■OJLL (On-the-Job Learning Leader)

意味：部下育成の中心的な役割を果たしているリーダーとして、『経験を学びにつなげる仕組み』を理解し、部下の成長を支援・促進するための知識／スキルを習得している。

取得：「リーダー・クラス向けOJL研修」に参画し、研修終了後、職場全体でその効果が発揮できていることが認定（組織長判断）されること。

■OJLM (On-the-Job Learning Manager)

意味：人材育成担当者及び責任者として、人材育成に関する組織全体の「共有ビジョン」が策定でき、『学びの組織』の土台作り及びその推進役を担うための素養が身についている。

取得：「マネージャ・クラス向けOJL研修」に参画し、研修終了後、組織としてその効果が発揮できていることが認定（経営者判断）されること。

■LFS (Learning Facilitator Supreme)

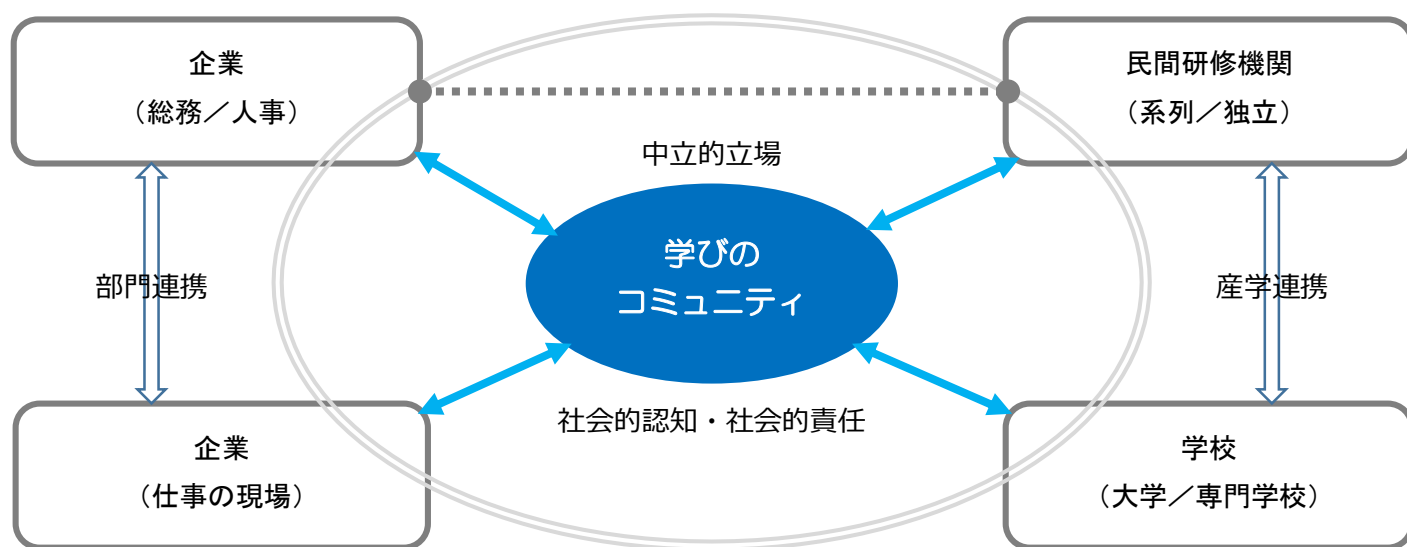
意味：教育界の「ティーチング⇒トレーニング⇒ラーニング」の流れを十分理解・認識した上で、世の中の人材育成の旧弊を打破し、新しい概念や方法論の普及に貢献できる。

取得：前ページの資格取得を一応の前提とするが、既に相応の実績がある場合はその限りではない。

I THRD主催『学びのコミュニティ』の推薦&総意という形で認定する。

4. 学びのコミュニティ

I THRD（「育成認定部会」中心）で『学びのコミュニティ』を運営する。



5. 研修名と受講対象者

A. LF体系（専門職として）

①ラーニングファシリテータ基礎研修

参加対象者：研修（社内／社外）担当講師、及びその候補者

②ラーニング・デザイン研修

参加対象者：研修（社内／社外）担当講師、「ラーニングファシリテータ基礎研修」参画済み
または同等のスキル保有者

③ファシリテーション・デザイン研修

参加対象者：研修（社内／社外）担当講師、「ラーニングファシリテータ基礎研修」参画済み
または同等のスキル保有者

B. OJL体系（現場の指導者として）

④リーダー候補向け【OJLF基礎】研修

参加対象者：部下の模範となるべき新リーダー及びリーダー候補＜入社2～7年目想定＞

⑤リーダー・クラス向け【OJL】研修

参加対象者：人材育成の中心的役割を果たしているリーダー＜入社5～15年目想定＞

⑥マネージャ・クラス向け【OJL】研修

参加対象者：人材育成担当者及び責任者＜スタッフ／ライン部門の課長職・部長職想定＞